

より付加価値の高い製品・サービスを提供

共同で開発に取り組みたい

1面から続く

— 今後の業務提携の進化や戦略についてお考えをお聞かせください。

大谷 エリアや製品の得意・不得意を補完し、今まで以上に関係を深めていきたいです。たとえばあるエリアにおいて、どのような分担をすることがお客様にとってメリットの最大化につながるか、という観点で協議を続けています。お客様へのきめ細かい対応や自社の強みを最大限に発揮しながら、お客様に最も貢献できる体制を目指しています。今後は、共同で新しい製品やサービスの開発にも取り組みたいと考えています。

吉池 お客様に納得していただける進め方を重視しています。業務提携が両社にとって、そしてなによりお客様にとって本当に良いことだと理解していただけるよう、柔軟に対応していきます。市場の動向を見ながら、どのエリアでどう展開するかを具体的に検討し、将来的には共同開発や部材の共通化など、コスト削減や新たな価値創出にもチャレンジしたいと考えています。

プレッショ 業務提携 川上機工

吉池 現在は相互販売が中心ですが、将来的には共同で行う製品開発や、部材の共通化によるコスト削減なども検討しています。両社の技術力や営業力を結集し、より良い製品・サービスを生み出していけたらと考えています。

NR-X(インサーター搭載丁合機) ウィンディDryEX(業務用乾燥機)

互いの製品の販路も拡大

大谷 お互いの強みを活かして、お客様にとってより付加価値の高い製品やサービスをお届けできればと考えています。今後は具体的なエリアやタイミングを協議しながら進めていきます。共同開発や新規事業にも積極的にチャレンジしていきたいです。

吉池 現在は相互販売が中心ですが、将来的には共同で行う製品開発や、部材の共通化によるコスト削減なども検討しています。両社の技術力や営業力を結集し、より良い製品・サービスを生み出していけたらと考えています。

— 4月に発売開始した、インサーター搭載丁合機の「NR-X」などの新商品について、現場での評価や省力化への期待は？ 新聞販売店では労務が厳しいく、外国人スタッフやタイミーのようなスポットワークでのアルバイトが増加する傾向にあります。

大谷 今後はさらに多くのお客様に提案していきたいです。

お客様のメリットを追求

より良い新聞業界を目指す

大谷 お客様にとってメリットになる形を追求し、より使いやすい製品やきめ細かいメンテナンス、業務支援アプリケースの開発を進めていきます。

吉池 新聞販売店様の細かいニーズに柔軟に対応し、業界の発展に寄与したいと考えております。コールセンター業務なども今後は取り扱いを開始し、それぞれの地域の中で役割を果たしていきたいと考えています。

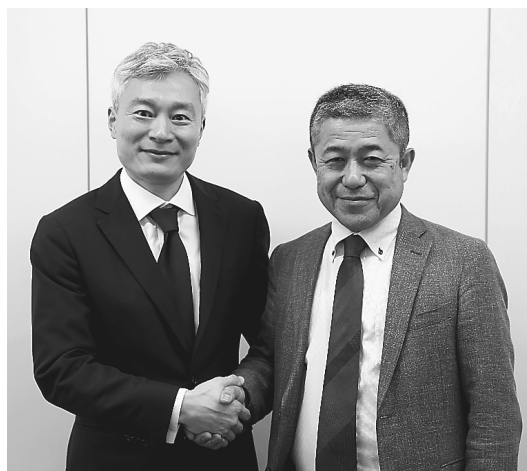
大谷 新聞業界には大きな変革の波が来ています。しかし、これはチャンスでもあると感じています。約1万3000店舗の新聞販売店様が、強靱な配達能力を持って全国各地で活動しています。物流や宅配事業における販売店の強みを発揮いただくための変革

大谷 早期の中入作業は熟練が必要ですが、人手不足の中で機械化による省力化が重要です。経験の浅い方でも短期間で業務をこなせるようになり、貢献できると考えています。NR-Xは作業効率を大きく向上させ、現場からも高評価をいただいています。

大谷 20年以上前から当社で製造・販売している製品です。冬季になかなか太陽が出ない豪雪地帯などでは、濡れたカッパや作業着を乾かすのが課題となっていました。また、新聞販売店様ではスタッフの皆さんに気持ち良く働いてもらう環境づくりが今の時代は求められています。最近では空港や高速道路の基

大谷 お客様にとってメリットになる形を追求し、より使いやすい製品やきめ細かいメンテナンス、業務支援アプリケースの開発を進めていきます。

吉池 新聞販売店様の細かいニーズに柔軟に対応し、業界の発展に寄与したいと考えております。コールセンター業務なども今後は取り扱いを開始し、それぞれの地域の中で役割を果たしていきたいと考えています。



固い握手を交わす吉池社長(右)と大谷社長

大谷 新聞業界には大きな変革の波が来ています。しかし、これはチャンスでもあると感じています。約1万3000店舗の新聞販売店様が、強靱な配達能力を持って全国各地で活動しています。物流や宅配事業における販売店の強みを発揮いただくための変革

プレッショのNR-X



川上機工のウィンディ Dry EX



— 本日は貴重なお話をありがとうございました。

大谷 弊社も業務用乾燥機(ウィンディ Dry)の販売を始め、現場からは非常に好評です。今後は両社の強みを活かして、より多くの現場に導入していきたいと考えています。

吉池 新聞販売店様の現場は人員確保などをはじめとして、非常に厳しい環境ではあります。が、さらなる機械化や効率化によって負担を軽減し、働きやすい環境作りに貢献してまいります。また、福利厚生や労務管理の面でも、今後は新たなサービスや提案を強化していきます。

しく、求人に応募してくれた方に気持ちよく働いてもらうことが重要です。快適な環境作りや福利厚生の充実が、今後ますます求められると感じています。現場の声を反映した製品開発やサポート体制の強化に努めていきます。設備投資は一時的に支出を伴いますが、生産性の向上や省人化を通じ、結果としては経営効率の向上につながるものと考えております。